

花の木北遺跡 発掘調査だより No.4

暦の上では秋とはいふものの残暑厳しい中、いかがお過ごしでしょうか。発掘調査は8月半ばの長雨によって、ほぼ1週間止まってしまい、ラジコンヘリによる空中撮影が遅れるなどの影響がありました。また、お盆前の8月7日（奇しくも花の日！）に、花の木北遺跡の地元説明会を開催しました。好天にも恵まれ、125名の参加を得ることができました。皆さまのご理解・ご協力に感謝いたします。

つづいて、調査成果について報告します。土器棺は壺の中の調査を進めました。残念ながら、人骨や副葬品はありませんでしたが、中からは複数の土器片が見つかりました。その中には、棺の壺とは別の土器片も入っていました。これは、棺の蓋として用いていたものかもしれません。

古墳時代の竪穴建物Cはさらに下層まで掘り進めたところ、多くの土器が出土しました。興味深いのは、どれも同じ棒状の形をした自然石の存在です。特に建物の南東隅には数個が集積しており、何らかの用途のために集めたものと考えられます。

弥生時代の竪穴建物Eは、調査を進めたところ、大部分が失われ、ごく一部しか残っていないことが判明しました。2棟の竪穴建物が重なっていた可能性もあります。土器や柱穴らしき遺構も見つかっていますが、詳しいことは分かりません。

なお、長雨の影響もあって、調査は予定よりやや遅れ、9月上旬に終える予定です。



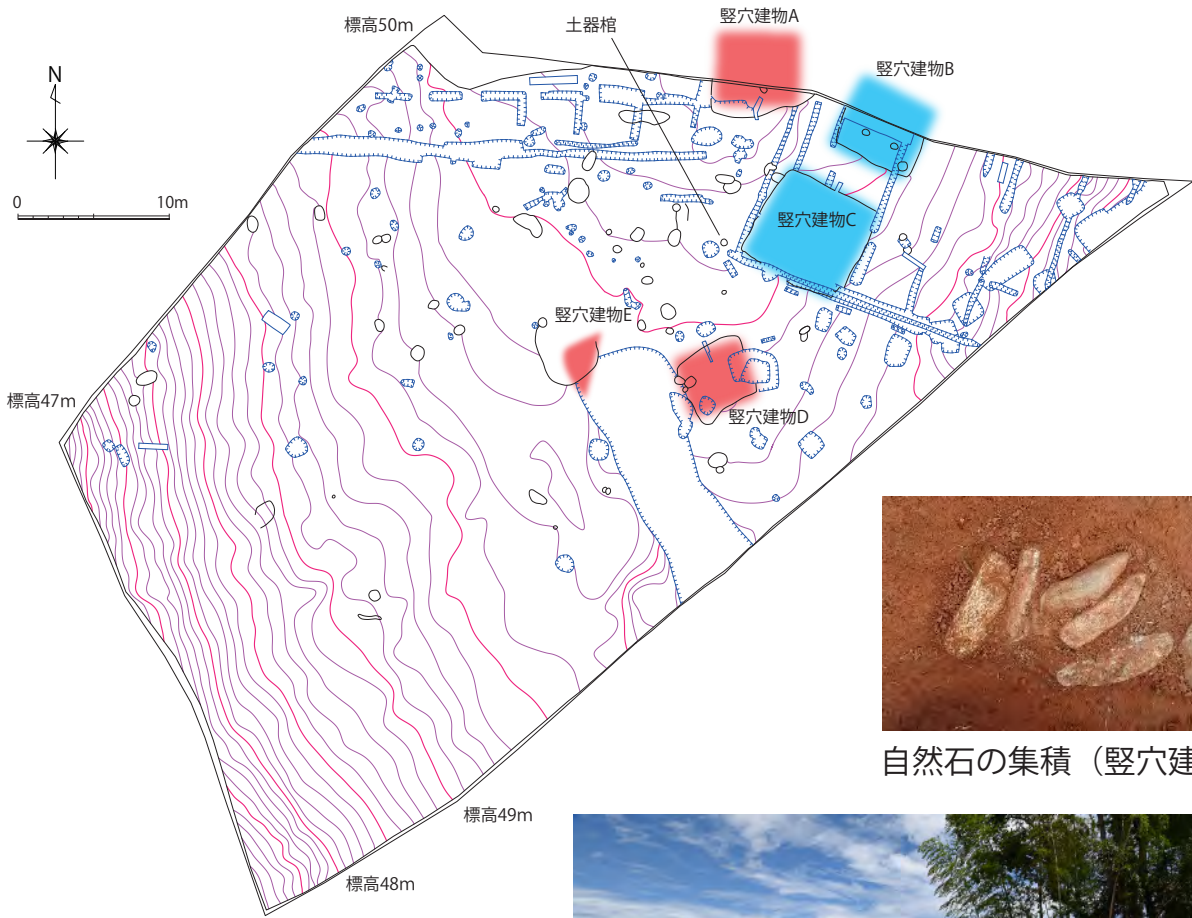
現地説明会（竪穴建物Cと本宮山をのぞむ）



土器棺



土器と柱穴（竪穴建物 E）



自然石の集積（竪穴建物 C）



竪穴建物 C 出土の土器と自然石



竪穴建物 C

発掘調査だよりNo.4

委託者 愛知県埋蔵文化財センター TEL: 0567-67-4163 (担当 池本・早野・堀木)

受託者 株式会社アコード TEL: 090-1679-5883 (担当 吉井)